

本当にやりたいことは、何ですか？ 自分だけの強みは、何でしょうか？

セカンドキャリアを考える 内多勝康 講演会



内多勝康

国立成育医療研究センターもみじの家ハウスマネージャー
元NHKアナウンサー

NHKアナウンサー時代に取材を通して「医療的ケア児」について知り、その後福祉職へ転職した内多勝康さん。それまでとは違う世界に飛び込むことを50代で決意した、その強い思いとは何だったのでしょうか。

転職、定年、子どもの成長……。長い人生の中で「セカンドキャリア」を考えるタイミングは、誰にでも訪れます。

自分自身と向かい合った先にある、新しい扉。新しい世界へ踏み出すことについて、考えてみませんか。

2019

10.6 (日)

14:00～16:00

開場 13:30

府中市市民活動センター プラッツ

6階 第2会議室

費用 無料 / 定員 先着50名

主催：府中市市民活動センター プラッツ

TEL 042-319-9703 / FAX 042-319-9714

MAIL moshikomi@fuchu-platz.jp H.P <http://www.fuchu-platz.jp/>

〒183-0023 東京都府中市宮町1-100 ル・シーニュ5,6階
京王線 府中駅南口直結

申込専用フォーム



<http://urx.space/S4Fd>



profile

内多勝康

国立成育医療研究センターもみじの家ハウスマネージャー
元NHKアナウンサー

30年にわたり、NHKアナウンサーとして活躍してきた内多さん。

2016年の春にNHKを退職し、在宅で医療的ケアを受けている子どもと家族が滞在できる施設、「もみじの家」ハウスマネージャーに就任しました。

ベテランアナウンサーとして定年まで勤めあげる道ではなく、まったく未経験の福祉現場へと進む、50代での転身を決意した背景にあったものとは何なのでしょうか。

「義を見てせざるは勇無きなり」(人としておこなうべき正義と知りながらそれをしないのは、勇気がないからである)。

論語に出てくるこの言葉が、いつも内多さんの心の中にあります。

長い間積み上げたキャリアで築いた能力は、違う世界でも強みとなって次の目標を支えてくれます。内多さんが「勇」を持って飛び込んだ先で見つけた使命について、じっくりとお話いただきます。

仮面ライダーが大好きで、正義の味方に憧れた少年時代。「自由」を脅かす大人や社会に、歌で立ち向かう尾崎豊を熱心に聴いていた青年時代。番組を通じてメッセージを伝え、人を幸せにしたいと願った新人アナウンサー時代。

正義のためにできることは何かを考え続ける中で、「誰かが耳を傾けなければ孤立して埋もれてしまう声を、ていねいにすくい上げること」が自分の目指す方向なのだと気づきました。

最近まであまりその存在を知られていなかった医療的ケア児について広く世間へ知らせ、支援者を増やしていくこと。NHK時代に培った「伝える力」は、そのための何より大きな武器となります。

参加申込

以下の内容を TEL、FAX、メール、または申込専用フォーム (<http://urx.space/S4Fd>) にてお申込みください。

セカンドキャリアを考えるー内多勝康講演会ー

氏名 (ふりがな)	
TEL (当日連絡がつく連絡先)	
FAX	
E-mail	

※ご記入頂きました個人情報は、府中市市民活動センタープラッツの事業運営のみに使用致します。